

**有害プランクトン情報**

(令和7年度 - No. 7)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターでは、プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、東京湾で有害プランクトンの出現状況調査を行っています。今回は10月の調査結果をお知らせします。

- 調査日 沖合漁場 10月 第1回 内湾 (8地点) 10月 6日 内房 (7地点) 10月 6日  
 10月 第2回 内湾 (8地点) 10月27日 内房 (2地点) 10月28日  
 貝類漁場内 木更津北部地区 10月 6日  
 富津地区 10月 6日

※沖合漁場10月第2回内房の調査は悪天候のため、浦賀水道以南は欠測

**東京湾(内湾)****【有害プランクトンの出現状況】**

- シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属は確認されませんでした。  
 ○ 8月22日に発出したシャットネラ属に関する警報 (R7No.1-1) は、10月6日の調査で警戒及び注意を必要とする基準を下回っていたため、10月9日に警報を解除しました。

・10月 6日	(沖合漁場) 船橋・羽田沖・盤洲北・盤洲南・ アクア南・富津	最高密度は盤洲南で0.30細胞/mL
---------	-----------------------------------	--------------------

- 9月16日に発出したカレニア属に関する警報 (R7No.1-2) は、10月6日の調査で警戒及び注意を必要とする基準を下回っていたため、10月9日に警報を解除しました。

・10月 6日	(沖合漁場) 千葉灯標・羽田沖・盤洲北・ 盤洲南・アクア南	最高密度は羽田沖で1.50細胞/mL
・10月27日	(沖合漁場) 羽田沖・アクア北・アクア南	最高密度は羽田沖で0.30細胞/mL

※ シュードシャットネラ属は100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は1,000 細胞/mL以上で注意報を発出します。

- 赤潮 (透明度1.5 m以下, pH8.5以上, 酸素飽和度150%以上) は、見られませんでした。

**【貝毒原因プランクトンの出現状況】**

## 1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

## 2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場及び貝類漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・10月 6日	(沖合漁場) 内湾全域	最高密度はアクア北で9.90細胞/mL
・10月 6日	(貝類漁場) 富津地区	密度は0.30細胞/mL
・10月27日	(沖合漁場) 船橋・羽田沖・アクア北・ アクア南・盤洲南	最高密度はアクア南で0.15細胞/mL

- 沖合漁場及び貝類漁場でディノフィシス コウデータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・10月 6日	(沖合漁場) アクア北・盤洲南	密度はいずれも0.20細胞/mL
・10月 6日	(貝類漁場) 富津地区	密度は0.05細胞/mL

- 沖合漁場でディノフィシス ロツンデータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・10月 6日	(沖合漁場) 内湾全域	最高密度はアクア北で1.60細胞/mL
・10月27日	(沖合漁場) 羽田沖・アクア北・アクア南・富津	最高密度はアクア南で0.25細胞/mL

- 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。  
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

### 東京湾(内房)

#### 【有害プランクトンの出現状況】

- シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属は確認されませんでした。
- 8月22日に発出したシャットネラ属に関する警報 (R7No.1-1) は, 10月6日の調査で警戒及び注意を必要とする基準を下回っていたため, 10月9日に警報を解除しました。

・10月 6日	(沖合漁場) 富津南・岩井	密度はそれぞれ0.05細胞/mL
---------	---------------	------------------

- 9月16日に発出したカレニア属に関する警報 (R7No.1-2) は, 10月6日の調査で警戒及び注意を必要とする基準を下回っていたため, 10月9日に警報を解除しました。

・10月 6日	(沖合漁場) 富津南・浦賀水道	最高密度は富津南で0.35細胞/mL
---------	-----------------	--------------------

- 赤潮はみられませんでした。

#### 【貝毒原因プランクトンの出現状況】

##### 1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

##### 2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場でディノフィシス アクキュミナータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・10月 6日	(沖合漁場) 富津南・大貫・浦賀水道・保田	最高密度は浦賀水道で0.60細胞/mL
---------	-----------------------	---------------------

- 沖合漁場でディノフィシス コウデータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・10月 6日	(沖合漁場) 富津南・大貫・浦賀水道・岩井	最高密度は浦賀水道で0.10細胞/mL
---------	-----------------------	---------------------

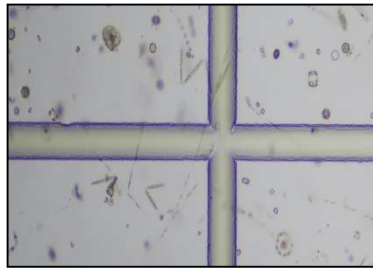
- 沖合漁場でディノフィシス ロツンデータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・10月 6日	(沖合漁場) 富津南	密度は0.85細胞/mL
・10月28日	(沖合漁場) 富津南	密度は0.05細胞/mL

- 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。  
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

- 10月6日 内湾 珪藻 タラシオネマ属, シュードニッチア属  
など
- 10月6日 内房 珪藻 タラシオネマ属, シュードニッチア属  
など
- 10月27日 内湾 珪藻 スケルトネマ属
- 10月28日 内房 珪藻 キートセロス属



シュードニッチア属など  
(10月6日 富津)

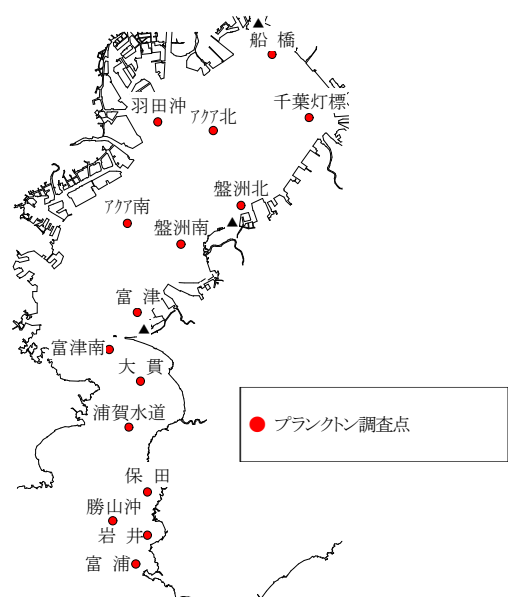


タラシオネマ属など  
(10月6日 富津南)



スケルトネマ属など  
(10月27日 千葉灯標)

調査点 (沖合漁場)



調査点 (貝類漁場)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091 TEL 0439-65-3071 E-mail wanken@mz.pref.chiba.lg.jp